

# 第4回 事業報告書

(平成27年1月1日から平成27年12月31日まで)

## I 事業活動

今年度も公益目的事業として、つぎの事業に取り組みました。ひとつは、講演会や交流会などを通じて地域活性化と産業振興を目的とした「産業振興事業」であり、もうひとつは、重要文化財旧松本家住宅の見学を通じて建築文化や歴史を学ぶ場、および文化財建物を文化活動の場として活用することによる文化振興を目的とした「文化財活用事業」です。

今年度は特に、官営八幡製鐵所関連施設をはじめとする世界文化遺産登録による見学ツアーの増加に伴い、積極的に館内見学の受け入れを行いました。

また、倶楽部前の市道拡張工事に合わせて、ここ数年の課題でありました正門周辺的环境整備を中心に館内施設・備品の補修等、大規模な設備投資を行いました。

これらの事業を財政面で支えるとともに、あわせて、その収益を、公益目的事業の推進拠点となる重要文化財建物の維持に充てるための「食堂運営事業」も行いました。

### 1 産業振興事業

#### (1) 講演会

経営・経済・政治・文化・社会問題等につき、有識者を招いて講演会を開催し、延べ550名程の参加がありました。

また、行政関係・友好諸団体主催の講演会の共催ならびに後援を行い、参加者の幅広い交流の機会づくりを行いました。

当倶楽部が主催した講演会は、つぎのとおりです。

第1回 平成27年2月9日(月)

「総選挙後の内外情勢」

同志社大学 学長 村田 晃嗣氏

第2回 平成27年2月27日(金)

「北部九州の経済情勢について」

財務省 福岡財務支局長 長谷川 靖氏

第3回 平成27年3月25日(水)

「明専の三士人について」

作家 興膳 克彦氏

第4回 平成27年4月16日(木)

「地方創生 ― 北九州市の新たなチャレンジ ―」

北九州市長 北橋 健治氏

第5回 平成27年5月13日(水)

「我が国の貿易動向と貿易の円滑化について」

財務省 門司税関長 廣田 恭一氏

第6回 平成27年6月11日(木)

「私とロシア」

オーポラロシア福岡 会長 田村 文彦氏

「欧米によるロシアへの経済制裁とその影響」

～日本ビジネス界のロシアとの付き合い方～

オーポラロシア福岡 副会長 朝妻 幸雄氏

第7回 平成27年7月6日(月)

「葉室麟トークライブ ～歴史と小説を考える～」

直木賞作家 葉室 麟氏

北九州市立文学館 館長 今川 英子氏

第8回 平成27年8月5日(水)

「危機管理に強い組織になるために」

～コンプライアンス・リスクの要諦～

(株)エスピーネットワーク 代表取締役副社長 熊谷 信孝氏

第9回 平成27年9月4日(金)

「2015年度下期に向けた経済・金融市場の見通し」

SMBC 日興証券(株) 金融経済調査部担当部長 金融財政アナリスト 末澤 豪謙氏

第10回 平成27年10月16日(金)

「北九州地域の発展に向けた主要施策について」

福岡県知事 小川 洋氏

第11回 平成27年11月9日(月)

「九州を元気に、日本を元気に」

～成長戦略を支える人と技術～

経済産業省 九州経済産業局長 岸本 吉生氏

第12回 平成27年12月16日(水)

「最近の内外経済情勢と今後の展望」

日本銀行 北九州支店長 福本 智之氏

その他共催・後援事業は、つぎのとおりです。

平成27年1月22日(木)

「北九州発の世界トップ企業でありつづけたいイノベーションと人材育成」

北九州商工会議所 会頭 利島 康司氏

平成27年2月13日(金)

「アジア経済の成長と都市交流の役割」

東京大学 公共政策大学院特任教授 河合 正弘氏他

平成27年2月21日(土)

「第3次安倍政権の行方」

自民党副総裁 衆議院議員 高村 正彦氏

平成27年2月24日(火)

「不確実な世界、日本の針路、私たちの選択」

政策研究大学院大学客員教授 黒川 清氏

平成27年3月18日(水)

「都市再構築と地方創生のデザイン」

～集住とダウンサイジングによる成長点づくりの都市経営～

(公財)九州経済調査協会 調査研究部部長 田代 雅彦氏

平成27年3月24日(火)

「地方創生と水産業の改革」

(公財)アジア成長研究所 客員主席研究員 小松 正之氏

平成27年4月14日(火)

「少子高齢化時代の成長戦略を考える」

(公財)アジア成長研究所 所長 八田 達夫氏他

平成27年5月28日(木)

「地方創生の観点からみた北九州経済の現状と課題」

日本銀行 北九州支店長 宮田 慶一氏

平成27年6月23日(火)

「空港を活かす地域戦略～北九州空港を事例にして～」

北九州エアターミナル(株) 代表取締役社長 片山 憲一氏

平成27年7月28日(火)

『蘇ったスターフライヤー』の中期経営戦略について」

株式会社スターフライヤー 代表取締役社長執行役員 松石 禎己氏

平成27年9月8日(火)

「福岡空港と福岡県の発展」

福岡空港ビルディング(株) 代表取締役社長 麻生 渡氏

平成27年11月16日(月)

「室町一丁目再開発事業の景観形成と波及効果

～広がるリバーウォーク北九州の影響～

(公財)アジア成長研究所 客員研究員 出口 隆氏

北九州市立大学 都市政策研究所教授 内田 晃氏

平成27年12月8日(火)

「東アジアの安全保障情勢と日本の対応」

東京財団 理事長 秋山 昌廣氏

## (2) 交流会

### ① シンポジウムの会

参加者相互の交流をより深めることを目的とする、美食会を兼ねた“シンポジウム”の会を6月、11月に計2回開催しました。それぞれのテーマに沿った食材を使った料理を楽しむとともに、倶楽部の近況報告を行いました。

### ② 特別講演会ならびに交流会

毎年の恒例行事として、つぎのとおり開催し、福岡県知事・北九州市長ほか多数の参加があり、情報交換・懇親の場として活用いただきました。

1月5日 新年賀詞交歓会

4月16日 北九州市長特別講演会ならびに春季懇親会

10月16日 福岡県知事特別講演会ならびに秋季懇親会

### ③ 行政・経済団体等との交流

行政(九州経済産業局・福岡財務支局・北九州市各部局・教育委員会など)、友好諸団体(北九州商工会議所・(公財)北九州国際技術協力協会・(公財)北九州活性化協議会・(公社)北九州貿易協会・(公財)アジア成長研究所・(公財)北九州国際交流協会・福岡経済同友会・(一財)福岡ユネスコ協会・福岡アメリカンセンターなど)と協力して、各種のシンポジウム・講演会・懇談会・文化活動など、地域の発展と国際友好親善に努めました。

## 2 文化財活用事業

明治45年(1912)年に洋館が竣工し、昭和47年(1972)年に重要文化財に指定された「旧松本家住宅」は、その建物の維持管理の観点から、公開は特別公開日のみとしています。今年度の特別公開日は、4月26日および11月1日の2日間開催し、合わせて2,000名近くの入場者がありました。

なお、建築専門家および建築に関心のある団体や学校からの社会見学は、事前の予約を受けて対応しています。

また、婚礼や食事等での会館利用者に対しては、積極的に館内案内を行っており、重要文化財に直接触れることで文化財の意義・価値を認識するとともに、文化財保護意識を高めていただく機会となっています。

このほか行政や友好諸団体・文化団体との文化交流では、音楽・茶道・華道・書画等や音楽会・作品発表会などに会場を提供し、文化向上に努めました。特別公開日には、ミニコンサートや茶道体験・華道団体の作品発表会の場として、出展者ならびに多くの来館者に好評を博しています。

### 3 食堂運営事業

会食部門では、ビアガーデンや忘新年会プランなどの企画が好評で、客数ならびに利用回数は増加したものの、売上高は前年を若干下回る実績となりました。一方、婚礼部門は前年に引き続き好調に推移し、前年実績ならびに目標を大きく上回る成果を残せました。その結果、当事業の収入は315,830千円（前年比54,829千円増）、支出は290,586千円（前年比42,232千円増）となり、経常利益で25,243千円（昨年比12,597千円増）の黒字を計上することができました。

なお、これらに、産業振興事業・文化財活用事業および法人会計の収支を加えた全体の収支は、収入353,262千円（前年比54,836千円増）、支出338,055千円（前年比46,930千円増）となり、差引15,206千円（前年比7,905千円増）の経常利益となりました。

## II 会務の概況

### 1 定時社員総会

平成27年2月26日12時00分から当倶楽部で第3回定時社員総会を開催しました。

報告事項 第3期(平成26年1月1日から12月31日まで)事業報告の件

決議事項

第1号議案 第3期(平成26年1月1日から12月31日まで)貸借対照表および正味財産増減計算書ならびに財産目録承認の件

本件は原案どおり承認可決されました。

第2号議案 理事6名選任の件

本件は原案どおり承認可決されました。

第3号議案 監事2名選任の件

本件は原案どおり承認可決されました。

## 2 理事会・委員会

平成 27 年度中に開催された理事会・委員会は、つぎのとおりです。

理 事 会	3 回	監 事 会	1 回		
役員懇談会	4 回				
経済調査委員会	2 回	財務委員会	1 回	総務委員会	3 回
交流委員会	1 回				

## 3 会員の異動状況

会員種別	前年度末 現在会員数	本年度 入会者数	本年度 退会者数	本年度末 現在会員数	増減数
法人会員 (指名会員)	184 社 ( 244 人)	6 社 (7 人)	2 社 (4 人)	188 社 ( 247 人)	+4 社 ( +3 人)
個人会員	7 人	0 人	1 人	6 人	-1 人
客 員	8 人	0 人	1 人	7 人	-1 人

\*指名会員の異動には、増員ならびに個人会員への異動を含みます。

## 4 役員の状況(平成 27 年 12 月 31 日現在)

理事長(代表理事)	利 島 康 司
副理事長	佐 藤 直 樹
	同 伊 倉 信 彦
	同 張 本 邦 雄
常任理事	久 富 雅 史
理事	高 橋 正 幸
	同 影 山 英 雄
	同 岡 野 正 敏
	同 古 野 英 樹
	同 小 倉 良 夫
	同 川 邊 貴 俊
	同 早 川 陽 一
	同 自 見 榮 祐
	同 二 橋 岩 雄

監 事

同	前 川 義 広
同	柴 崎 康 男
同	芳 賀 晟 壽
同	小 林 英 信
同	北 村 徹
同	山 本 雄 造
	山 崎 博 司
同	吉 戒 孝
同	三 島 正 一
同	柏 木 修